

中期経営計画 説明資料

2019/5/22

日本ライフライン株式会社

2020/3期計画および本日の開示について

常務取締役管理本部長

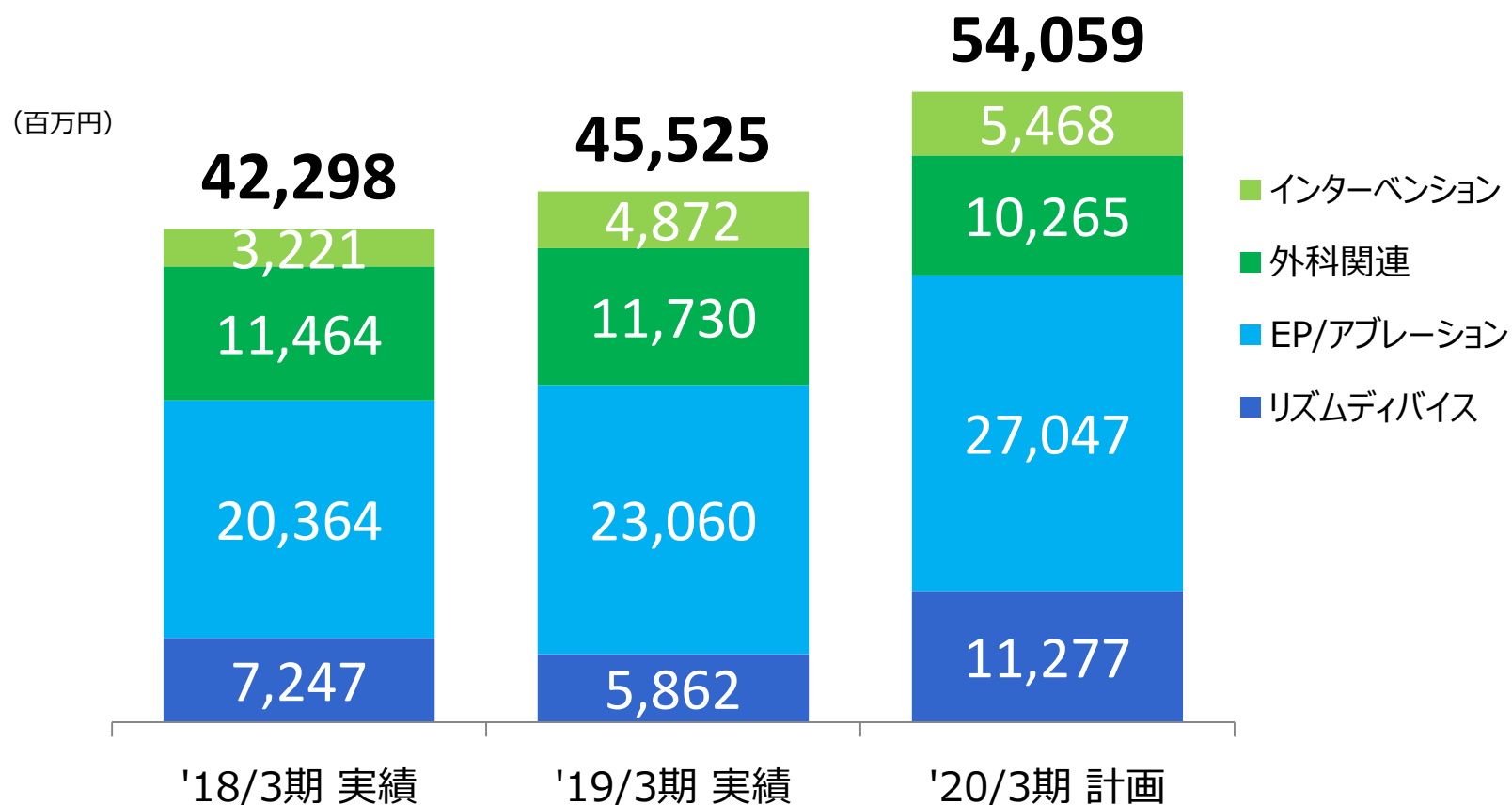
高橋 省悟

2020/3期 連結業績予想

- ・大幅増収となるも、BSC社（ボストン・サイエンティフィック社）のCRM製品への契約切替え時期であり、一時的な収益性の低下を見込む

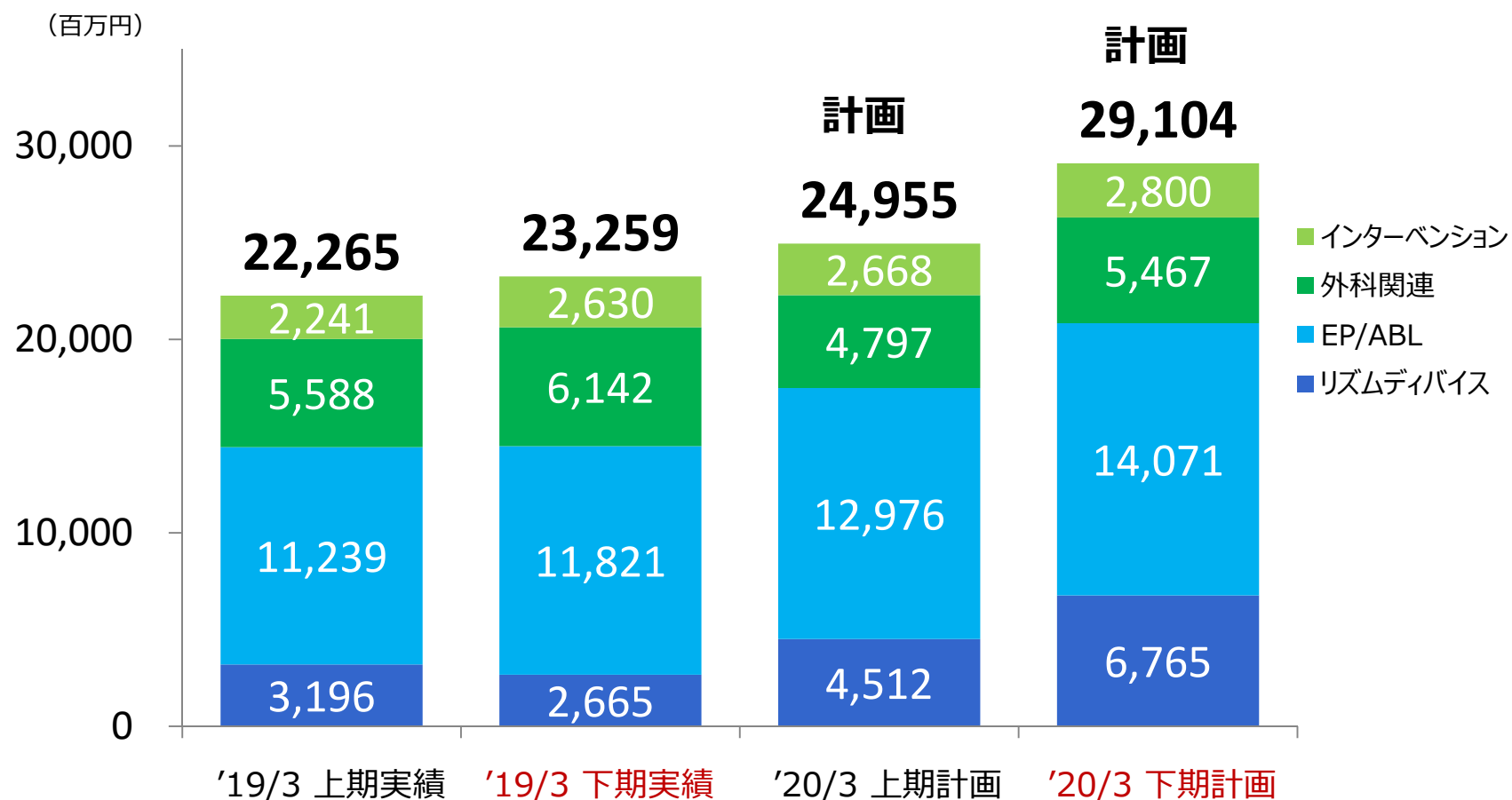
(百万円)	'18/3期 実績	'19/3期 実績	'20/3期 計画	前期比
売上高	42,298	45,525	54,059	+18.7%
売上総利益	26,576	27,822	30,600	+10.0%
売上総利益率	62.8%	61.1%	56.6%	△4.5pt
営業利益	10,671	10,526	10,465	△0.6%
営業利益率	25.2%	23.1%	19.4%	△3.7pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,478	7,723	7,747	+0.3%
当期純利益率	17.7%	17.0%	14.3%	△2.7pt

- BSC社製品への切替えによるリズムデバイスの倍増
- EP/ABLの堅調な成長が続く



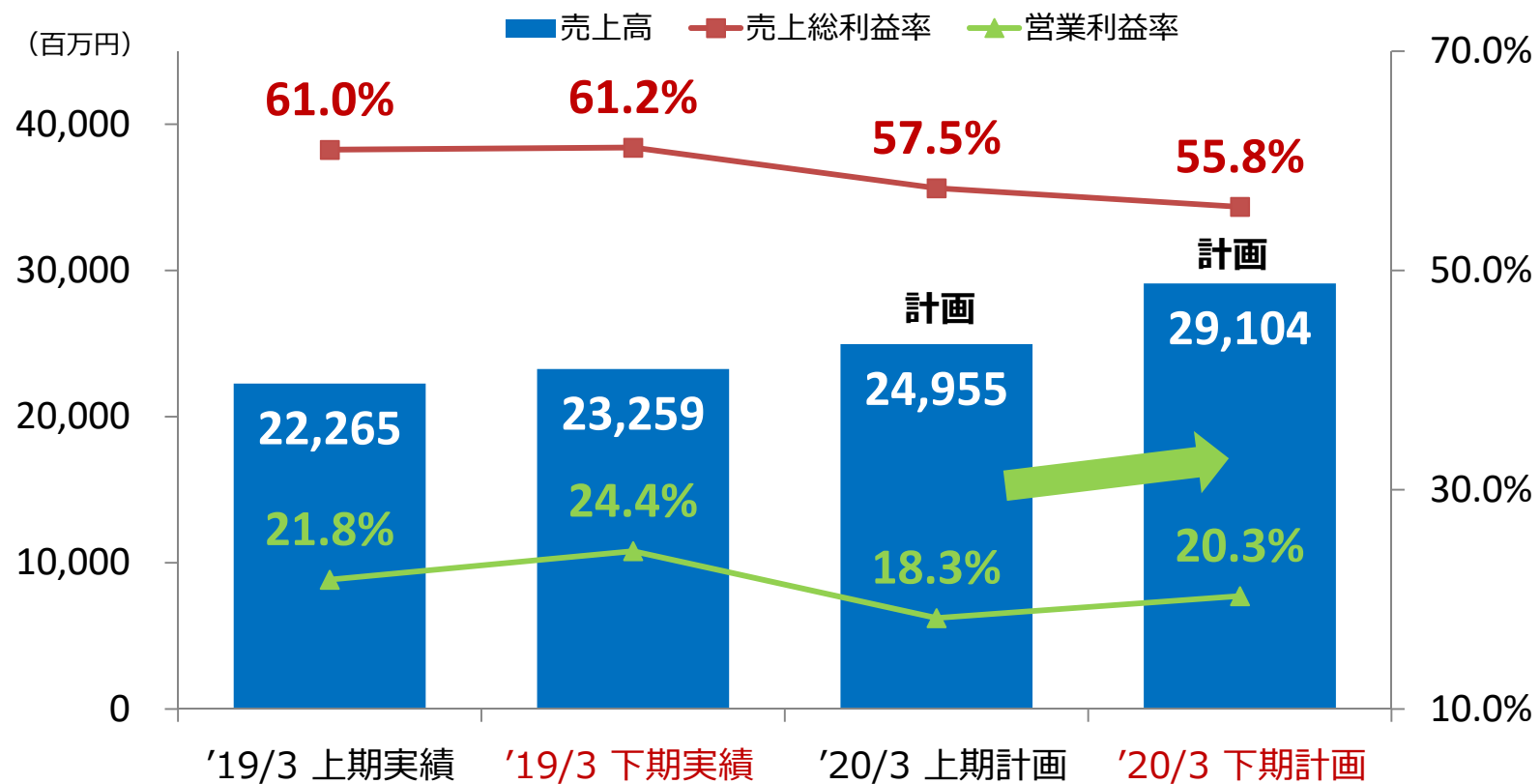
品目別売上高 半期推移 2019/3期-2020/3期

- リズムデバイスは9月からBSC社製品のフルリリースを開始
- 外科関連は一部品目の独占販売終了
(胸部SG* '19/3、人工弁 '19/5)



*SG: ステンントグラフト

- 仕入商品の増加、公定価格の改定（10月）により売上総利益率は低下
- 下期からBSC社製品が寄与し、費用増を吸収し営業利益改善を見込む



当下期から来期にかけて収益性が改善

第2回新株予約権（完了済み）

発行日 2017/12/21 *1

予約権総数 30,000個（対象株数 600万株 *2：自己株式充当）

行使完了日 2018/1/26

調達額 138億5千6百万円
（行使前日の終値の92% 払込金40百万円含む）

調達資金の用途 BSC社製品独占販売契約、メーカーへの貸付金、新商品初期在庫、工場建設（マレーシア、小山ファクトリー第2棟）

成長のための大型投資資金は一定の調達が完了

*1 2017/11/30付 「第三者割当による行使価額修正条項付第2回及び第3回新株予約権（行使指定・停止指定条項付）の発行に関するお知らせ」

*2 2018/1/1付 1:2分割

第3回新株予約権（取得・消却を決定）*1

発行日 2017/12/21

予約権総数 10,000個（対象株数 200万株 *2：自己株式充当想定）

行使完了日 未行使（停止指定が行われた状態で発行）

調達額 行使前日の終値の92%（払込金13百万円有り）

停止指定解除条件 決算短信等において当社の一会計年度の連結売上高の実績（または予想）として550億円以上を開示した場合に停止指定が解除される。

第2回により大型投資資金は調達完了、第3回は取得・消却

*1 2019/5/22付 「第3回新株予約権（行使価額修正条項付新株予約権）の取得及び消却に関するお知らせ」

*2 2018/1/1付 1:2分割

保有自己株式の消却を決定

消却する株式の種類	当社普通株式
消却する株式の総数	5,000,000 株 (消却前の発行株式総数に対する割合 5.53%)
消 却 予 定 日	2019/5/31

(ご参考)

2019/3/31時点の 所有自己株式数	10,005,712 株
自己株式消却後の 発行済み株式総数	85,419,976 株

中期経営計画

2020/3期～2024/3期

代表取締役社長

鈴木 啓介

メーカー機能

医療現場のニーズを反映した
自社製品の開発

商社機能

海外の最先端の
医療機器の探索・商権獲得

医療機器の早期導入を支える薬事戦略

全国を網羅する営業ネットワーク

規模拡大と収益性確保を両立
高水準での成長を目指す

- ① 自社製品のさらなる拡充
- ② 仕入商品のパイプライン確保
- ③ 研究開発・生産体制の強化
- ④ 循環器以外の新領域の開拓
- ⑤ 海外展開

当社中計はローリング方式を採用

- 計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まない
- 販売契約、開発、治験等の最新の状況を踏まえ更新
- 保険償還価格の想定

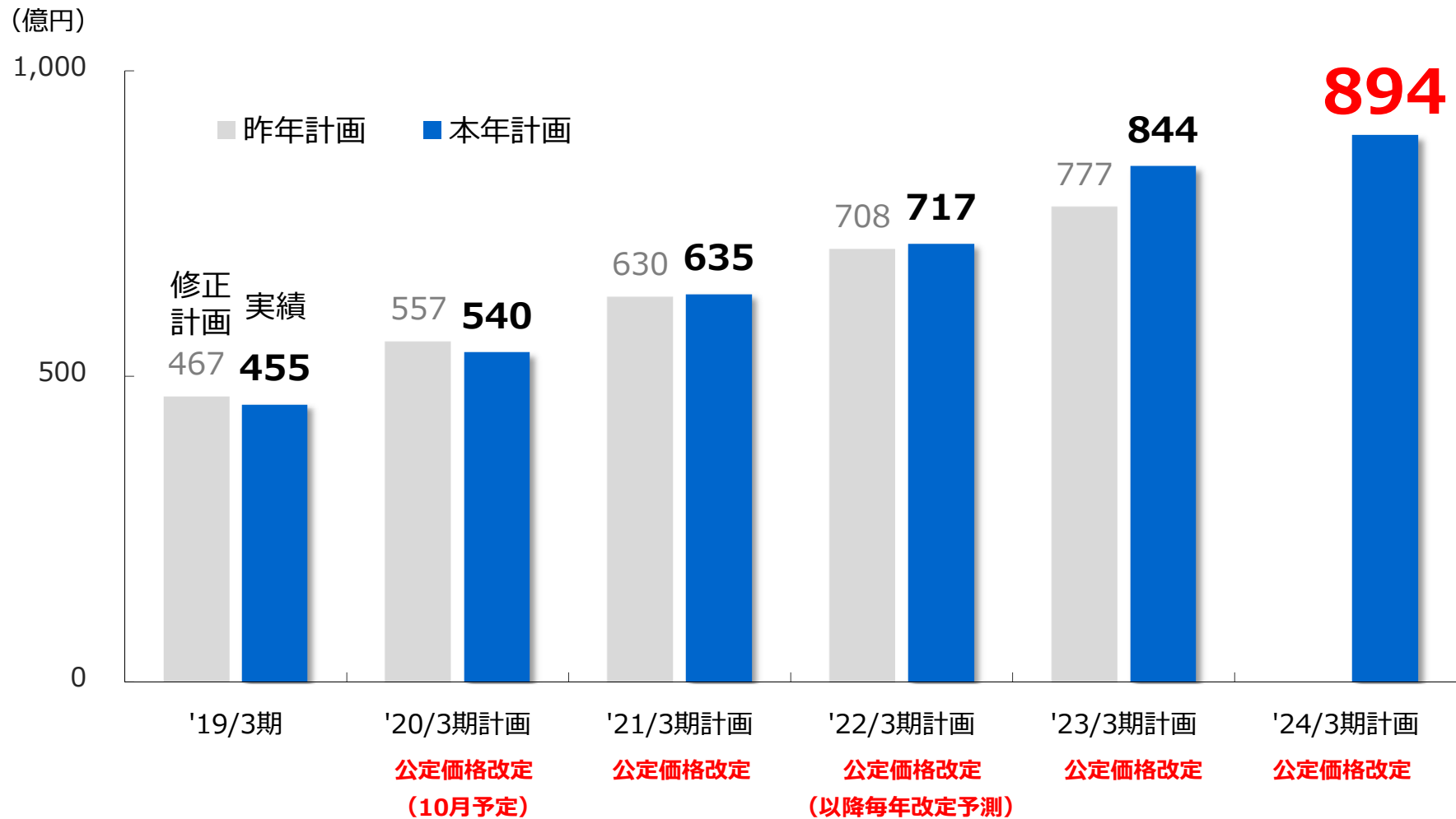
2019/10：消費税改定に伴う改定

2020、2021*、2022、2023の各年4月に改定を見込む

(*2021年からの毎年改定を予想)

事業環境の変化へ迅速に対応

中期経営計画 業績目標



<昨年計画>

2018/5/29公表

2023/3期

連結売上高

777億円

営業利益率

25%

<本年計画>

2019/5/22公表

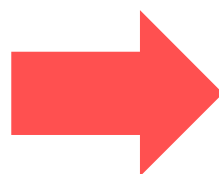
2024/3期

連結売上高

894億円

営業利益率

23%



リズムデバイス

- BSC社製品への切り替え、中長期の成長基盤が整う
- S-ICDの取扱を先行し、全面的な販売開始に向け準備を進める

EP/アブレーション

- AF*症例増加が続き、自社製品の安定的な拡大を見込む
- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテルは次世代品の寄与を見込む

外科関連

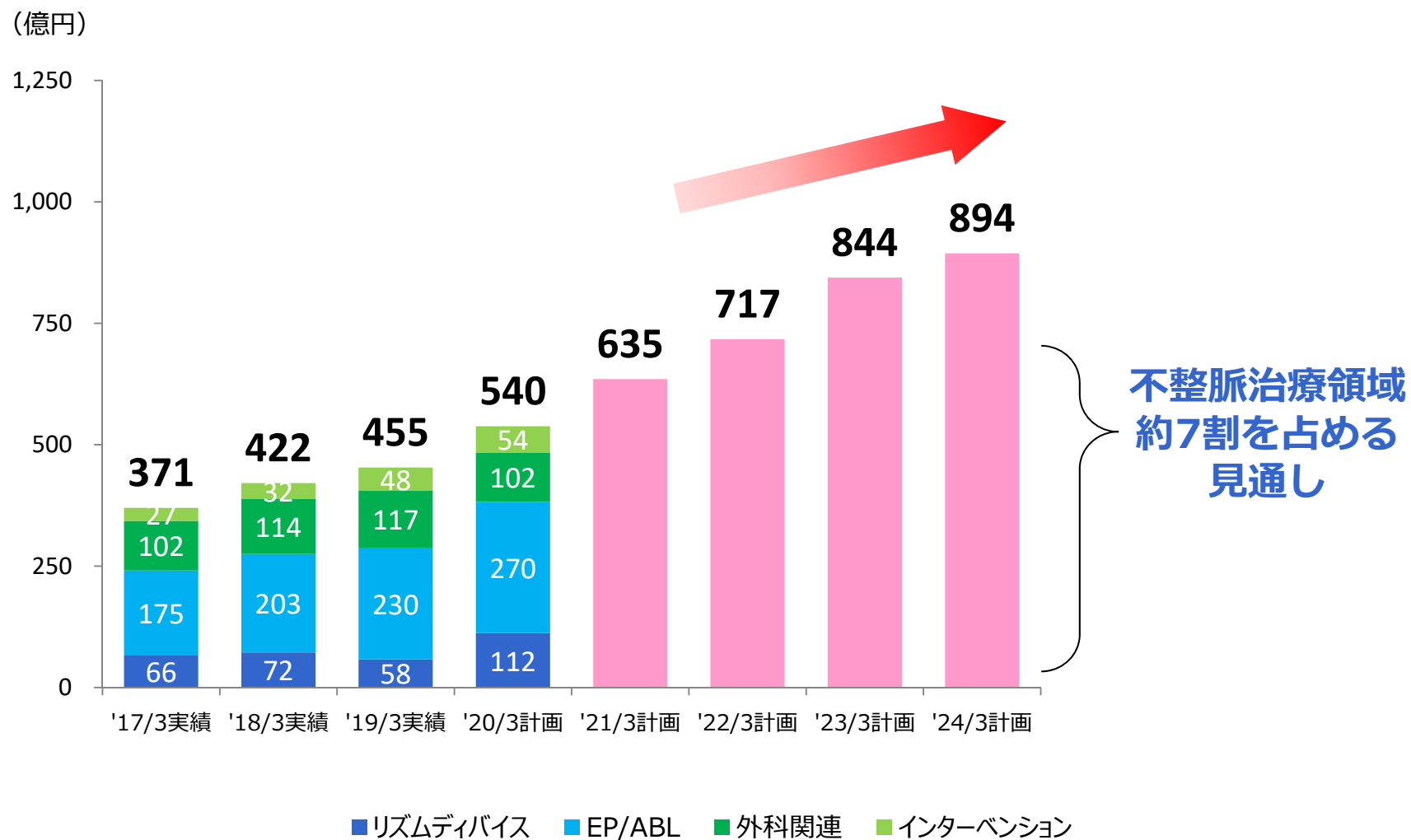
- 人工弁ビジネスは2019/5末終了、人工血管関連に経営資源を集中
- 大動脈治療領域における豊富なラインナップを訴求

インターベンション

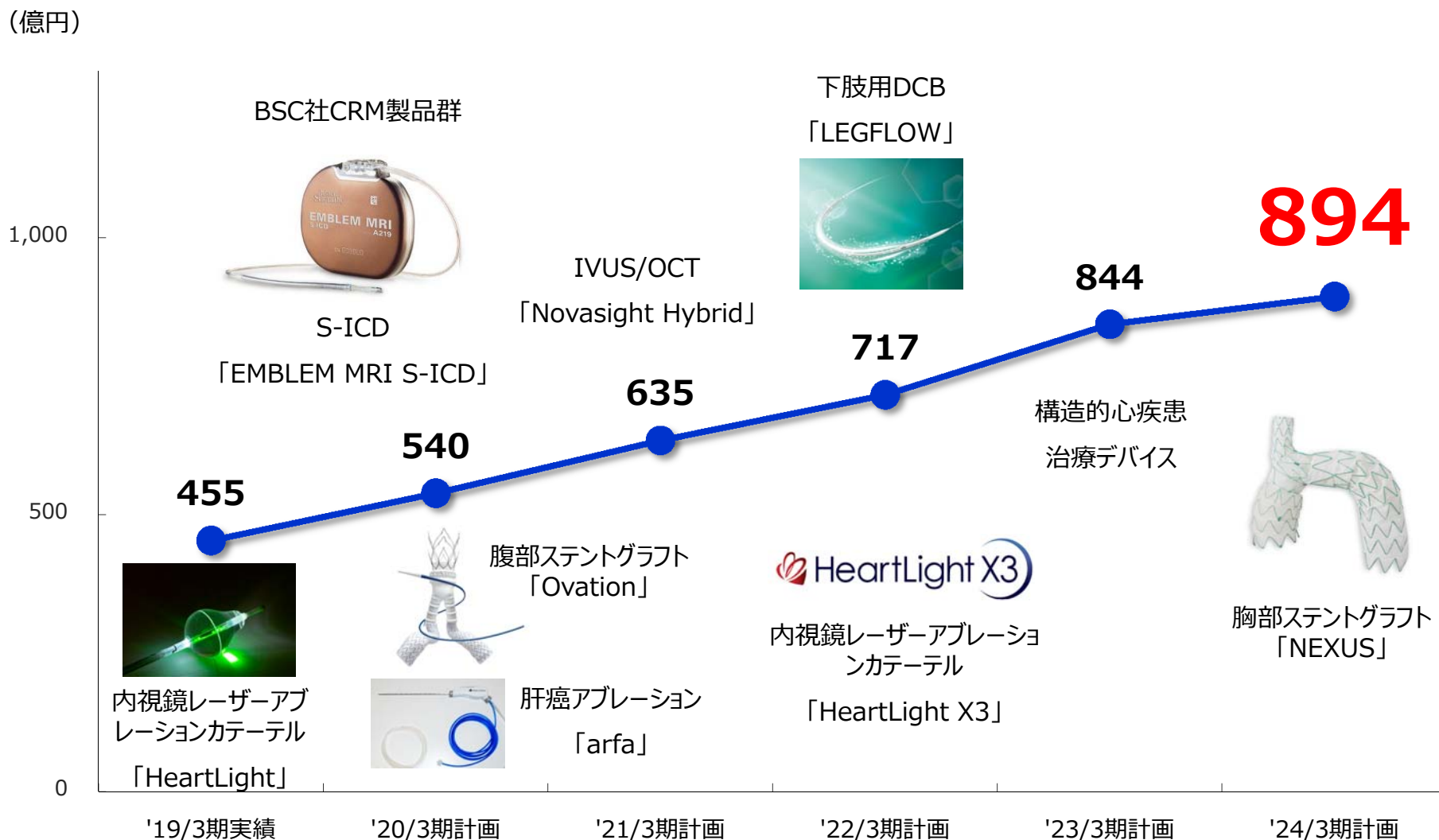
- DESは一定のシェアを獲得
- 新領域の開拓を進める（消化器、構造的心疾患領域）

*AF: Atrial Fibrillation（心房細動）

不整脈治療領域が成長の確かな土台となる



中期経営計画 商品パイプライン (一部)



上記以外にも複数の商品導入・開発計画が進行中

- ① **BSC社製品によりCRM事業の規模拡大を図る**
- ② **S-ICDはじめ優れた頻脈治療の製品群で成長に拍車**
- ③ **将来的に大幅なマーケットシェアの拡大を目指す**

*ボストン・サイエンティフィック ジャパン社

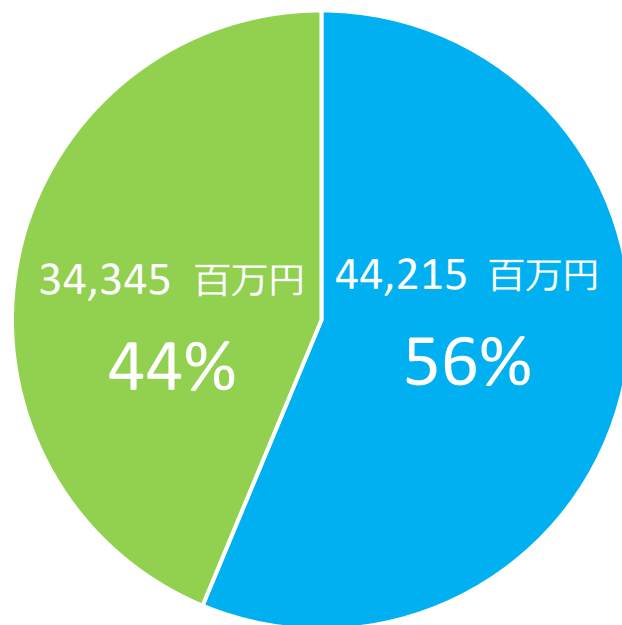
グローバル市場で高評価のBSC社製品への切替え

- 頻脈治療領域で世界的にも高い評価を得る
- BSC社の研究開発力を当社のパイプラインへ取り込む
- 徐脈治療中心のビジネスから徐脈・頻脈を合わせた総合的な商品提供を実現

**長期的パートナーシップで
トップクラスのシェア獲得を目指す**

CRM市場は徐脈から頻脈治療へ

CRM国内市場2017

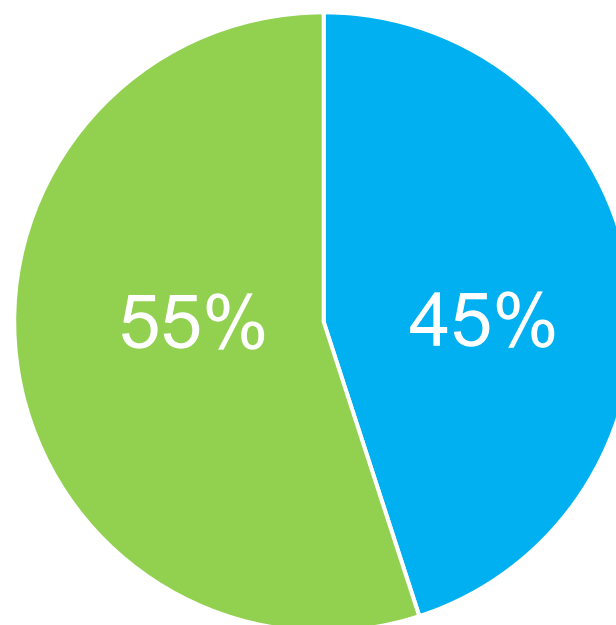


(R&D CY2017)

■ Brady (PM関連) ■ Tachy (ICD関連)

CRM国内市場2023

予測



(当社推計値)

■ Brady (PM関連) ■ Tachy (ICD関連)

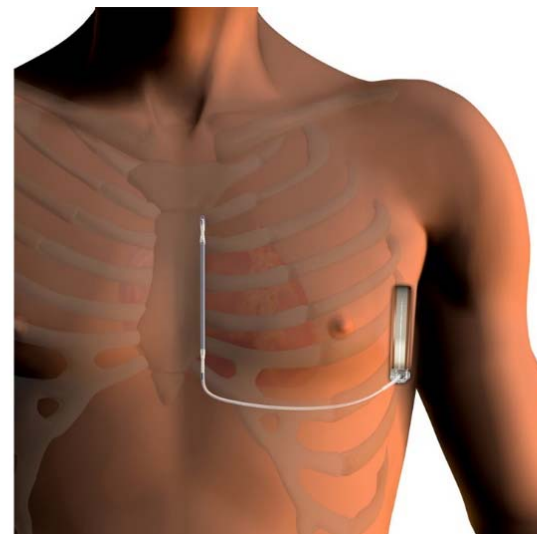
※Brady/Tachyリードを含む

完全皮下植込み型除細動器 S-ICD 先行販売

- オンリーワン商品「EMBLEM MRI S-ICD」
- 一般的なICDと異なり心臓血管系に触れず、リードに伴う合併症を大幅に抑制
- 2019/4から販売経験を重ね、9月からの本格販売へ



「EMBLEM MRI S-ICD システム」



S-ICD 植込みイメージ

オンリーワン製品で頻脈治療領域を早期に開拓

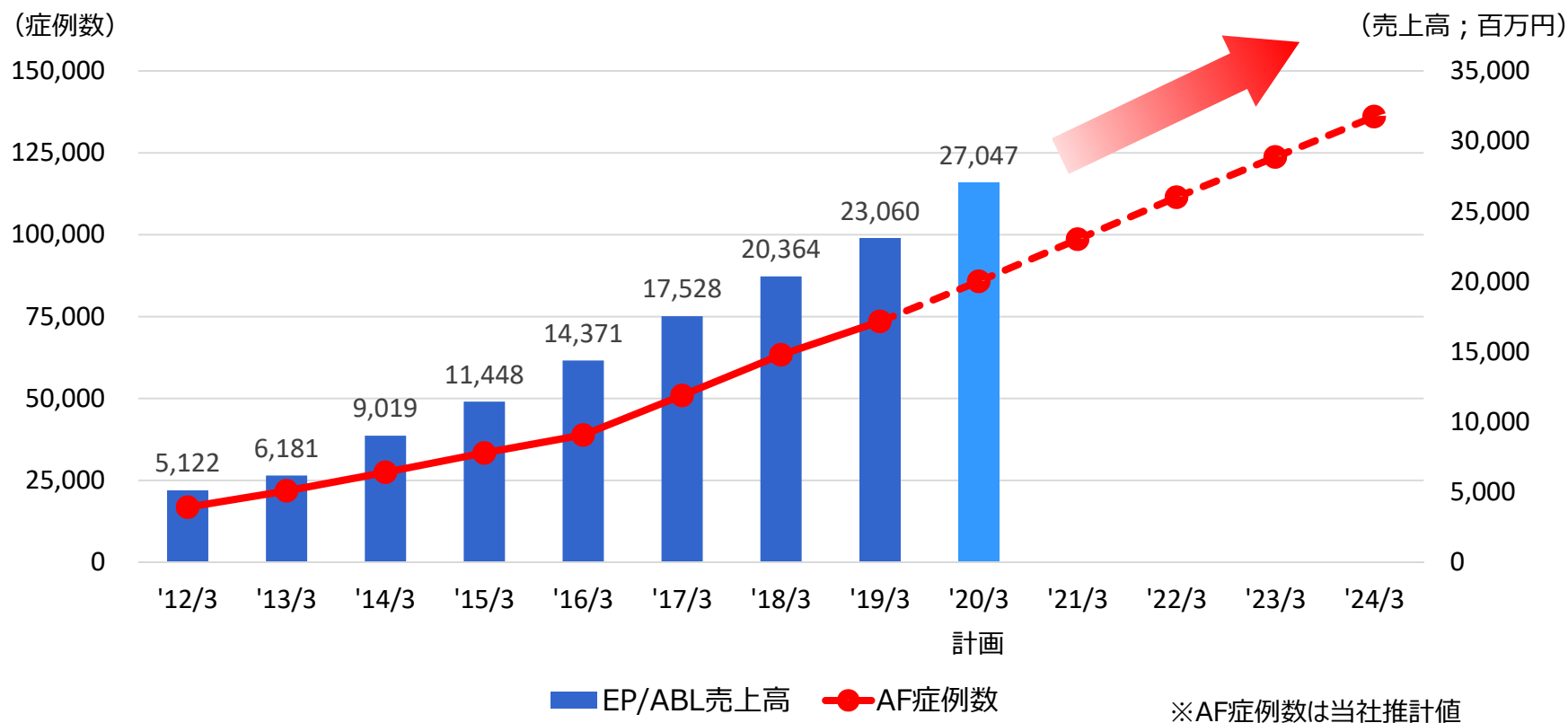
- **BSJ社の全CRM営業人員が本年9月から当社に出向、その後、当社への転籍を予定**
- **BSJ社*への営業支援金の支払**

*ボストン・サイエンティフィック ジャパン社

- ① AF*のアブレーション症例数は
引き続き二桁を超える増加を見込む
- ② 症例数増加を背景にオンリーワン商品がさらに伸長
- ③ 内視鏡レーザーアブレーションカテーテルの普及を図る
- ④ 既存自社製品の改良・拡販

*AF: Atrial Fibrillation (心房細動)

- ・ AF症例数は二桁増が継続、2024/3期には13万例を超えると予想
- ・ 評価が高い検査用商品のほか、今後は治療用商品の寄与も見込む



さらなる成長を目指し治療用商品に注力

- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル
- 「HeartLight」
- CardioFocus社製
- 2018/7より販売
 - 内視鏡で肺静脈を直視可能
 - 焼灼レーザーの出力調整が可能
 - 多様な肺静脈形状へ適合
- 洞調律維持率は症例1年後80%以上、長期成績にも期待
 - 1年後 82% 2年後 76% 3年後 76% 4年後 75%*



内視鏡レーザーアブレーションシステム
「HeartLight (ハートライト)」
左：カテーテル 右：コンソール

症例に応じた最適な治療を提供

*[Europace doi:10.1093/europace/euu168 [Visually guided laser ablation: a single-centre long-term experience]

次世代製品の導入を急ぐ

- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル
- 「HeartLight X3」
- モーターコントロールされた連続的なレーザー焼灼
- 焼灼レベルの調整と手技時間の大幅な短縮を両立
- 肺静脈1本を3分で隔離、手技時間は60.8分を実現*
- 2022/3期の上市を目指す



**競争力の高い次世代品の導入を控え、
内視鏡レーザーアブレーションの普及に努める**

*CardioFocus社の調査資料に基づく

IVC*アプローチ用
BeeAT



Catheter for
Atrial Cardioversion System SHOCK AT
BeeAT
Via IVC approach

2019/2フルリリース

左手用
スティーラブルシース



Guidee
Leftee

2019/7上市予定

BeeAT用
新ジェネレータ



SHOCK AT α

2020/1上市予定

国産メーカーとして
医療現場のニーズにきめ細かく対応

*IVC : 下大静脈

- ① 人工弁ビジネスは2019/5末で終了
- ② 腹部大動脈SG Nellixの導入は延期となる見込み
- ③ 自社製品オープンステントグラフトの海外展開
- ④ 胸部用ステントグラフトの早期導入

Nellixの導入は延期となる見込み

- 適応遵守症例の術後成績は良好、ただし適応外症例へ使用した一部の遠隔期データが悪化
- 製造元の自主的な判断で一時的に販売を延期
- 米国治験は継続して実施中だが、国内導入は遅れる見通し

当中計期間からは除外するも、導入準備は継続

オープンステントグラフト「FROZENIX」

- オンリーワン自社製品
- 低侵襲治療方法としての評価を確立
- 累積症例数は10,000例を超える



4分枝カフ付き製品を開発

- 4分枝人工血管との吻合が不要
- 手技時間の短縮に寄与

オープンステントグラフト
「FROZENIX」



海外販売に向けて取り組む

- 台湾 導入施設の拡大に注力
- 欧州 CEマーク取得の取り組みを継続

数多くの実績が優れた臨床効果を示す

胸部用ステントグラフト市場への再参入

- 分岐付き胸部用ステントグラフト「NEXUS」
- Endospan社製
- 手技の簡便化と合併症リスクの低減に期待
- 既にCEマークを2019/2に取得
- 2024/3期の上市を目指す



分岐付き胸部用ステントグラフト
「NEXUS」

**大動脈治療における豊富な実績を基に
魅力ある製品を導入**

- ① 薬剤溶出型冠動脈ステントの拡販
- ② 下肢用DCB*¹の早期上市に向け取り組む
- ③ IVUS/OCT*²によるイメージングデバイス分野へ参入
- ④ 新領域の開拓として、消化器領域へ注力
- ⑤ 構造的心疾患領域の商品ラインナップの拡充を図る

*1 Drug Coating Balloon

*2 IVUS (intravascular ultrasound: 血管内超音波検査)、OCT (Optical Coherence Tomography: 光干渉断層法)

薬剤溶出型冠動脈ステント

- 生体吸収性ポリマーの第3世代DES「Orsiro」
- 販売開始1年で約7%の市場シェアを獲得

臨床試験CASTLE Study*を開始

- 留置後12ヶ月における標的病変不全発生率を競合製品と比較
- 2019/5/17に第一例目の登録が完了
- 2022/10のTCTでの発表を目指す



薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro（オシロ）」

*Randomized Comparison “All-Comers” Study of Ultra Thin-Strut and Thin Strut Drug-ELuting Stents

末梢用DCBの導入準備を進める

- 下肢用（BTK*）薬剤溶出バルーンカテーテル
- 「LEGFLOW」
- CARDIONOVUM社製
- 薬剤パクリタキセルが再狭窄を抑制
- 2022/3期上期の上市を目指す



下肢用DCB
「LEGFLOW」

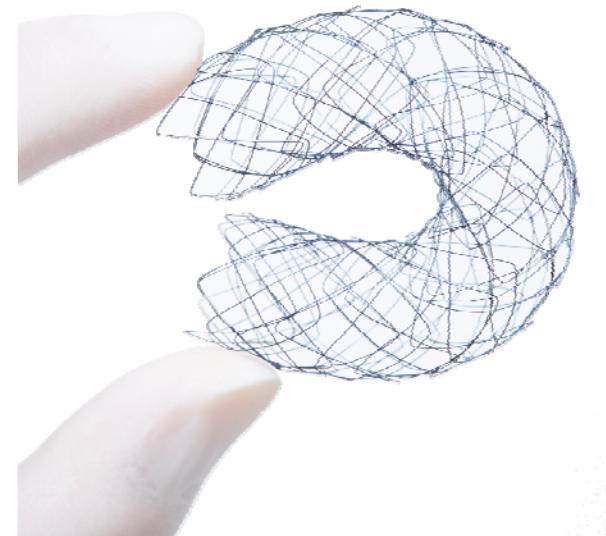
モダリティへの参入を計画

- IVUS/OCTハイブリッドシステム
- 「Novasight Hybrid」
- Conavi Medical社製
- 同一カテーテルでIVUS・OCT両方の画像を取得
- 2021/3期上期の上市を目指す

*Below the Knee

大腸ステント導入により消化器領域を開拓

- 大腸ステント「JENTLLY」
- 2017/6発売、2018/1フルリリース
- 自社製品であり、唯一の国産製品
- オープンステントの技術を応用
- 胃・十二指腸用ステントも計画



大腸ステント「JENTLLY」

循環器領域から他領域への展開を図る

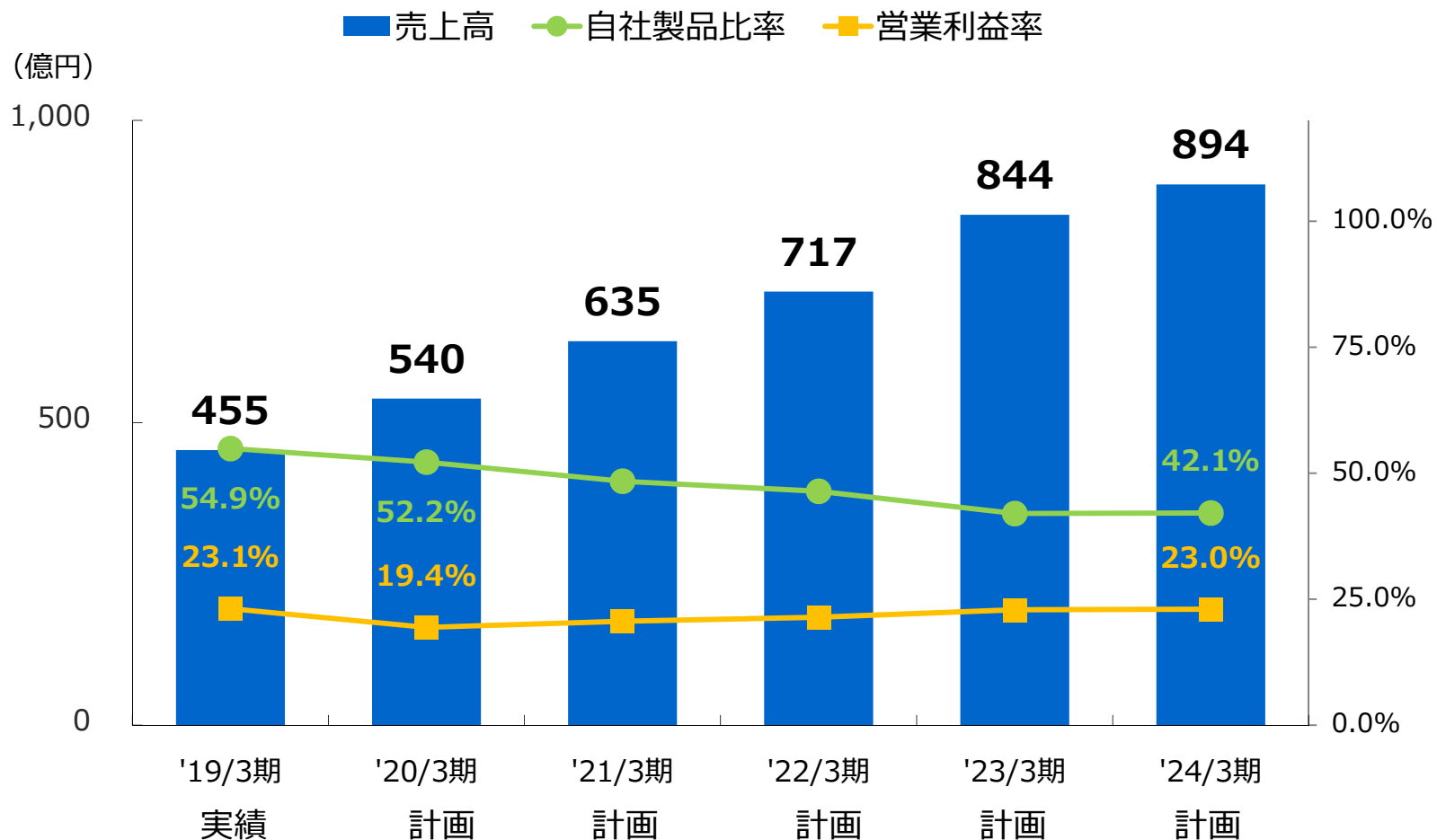
自社製品技術を応用し癌治療分野へ

- 肝癌治療用ラジオ波焼灼システム「arfa」
- アブレーション焼灼技術を活かし高い操作性を実現
- 当期3Qの販売開始を目指す

arfa



仕入商品の拡大により、自社製品比率は低下



自社製品への注力を高め、さらに収益性向上を目指す

研究開発

リサーチセンター (戸田市)



中核工場

戸田ファクトリー (戸田市)



海外工場①

シンセン工場 (中国シンセン市)

子会社
SYNEXMED社

血管・OSG生産

市原ファクトリー (市原市)



量産対応

小山ファクトリー (小山市)



第2棟が'20/4 稼働予定

海外工場②

マレーシア工場
(マレーシアペナン州)



'20/1 稼働予定

自社製品を支えるメーカー機能の拡充が進む

マレーシア工場の建設

- 生産面の海外展開
- 将来的に輸出の中核工場へ
- 増産対応、生産の複線化
- 2020/1の稼働を目指す
- 投資額は約20億円（うち土地約2億円）
- 2021/3期から連結見通し



小山ファクトリーは第2棟を建設

- コア技術を国内で拡充
- 取得済み工場用地を活用
- 2020/4の稼働を目指す
- 投資額は約20億円



**BSJ社との契約締結により、
不整脈治療事業における中長期的成長を確保**

**今後、自社製品への注力を通じて、
一層の成長を目指す**

ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に係る、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社

経営戦略部

TEL:03-6711-5214

E-Mail:ir@jll.co.jp

URL:<http://www.jll.co.jp>